

山形県サッカー協会
新型コロナウイルス感染拡大防止対策チェックリスト
 (第2版 2020年6月11日修正)

大会名	
主催者(責任者)氏名	
主催者(責任者)連絡先	

- 主催者は、大会参加者に対し、発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は、大会に参加しないよう事前に周知徹底すること。
- 主催者は、大会参加者に対し、試合日の2週間以内に感染者や濃厚接触者との交流がなかったかを確認すること。
- 万が一感染が発生した場合に備えて、主催者は、個人情報の取扱いに注意しながら、別添の書面の提出を求め、最低1ヶ月間は保存すること。
(主催者側が、参加者情報を把握できている場合は、チーム単位でのチェックリスト提出でもOK)
- 参加者にはマスクを持参させるとともに、プレー中以外の場合はマスク着用を依頼すること。
(熱中症が懸念される状況においては、社会的距離を保ったうえでマスクを外すことはOK)
- 手洗い場所、洗面所、トイレにはポンプ型石鹸を準備すること。
- 手洗い場所、洗面所、トイレにポンプ型石鹸が準備できない場合は、アルコール等の手指消毒剤を準備すること。
- 参加者にはマイタオルを持参してもらい、タオルの共用はしないこと。
- プレー中に、唾や痰をはいたり、うがいした水を吐き出す行為は極力行わないこと。
- 水やスポーツドリンクの回し飲みはしないこと。(マイボトル利用を徹底すること)
- 飲みきれなかった水やスポーツドリンクを指定場所以外(例えばピッチ内)に捨てないこと。
- 観客が発生する場合は、観客同士が密な状態とならないよう注意すること。
- 鼻水、唾液などついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、原則として本人が持ち帰って処理すること。
- 主催者が用意したゴミ袋を利用する場合は、主催者は処分する際にマスクや手袋を着用するとともに、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。
- イベント前後のミーティングにおいても三つの密を避けること。
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は、主催者は施設管理者に報告するとともに、山形県サッカー協会事務局にも報告すること。

本チェックリストは、日本サッカー協会が作成したサッカー活動の再開に向けたガイドラインを参考に、山形県サッカー協会としての最低限の対応について記載したものです。事業(大会)の規模によっては、更に細かい対応が必要になることも考えられますので、事業(大会)の特性等を勘案して、必要な取組みを適宜盛り込むようお願いいたします。